

いわきの子

岩城小学校
学校便り
第66号
R5.2.16
文責：佐藤

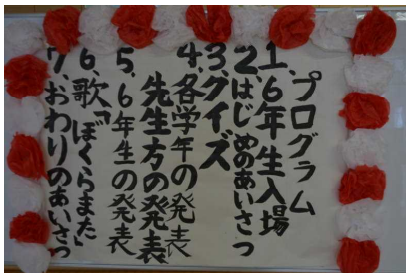
〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

6年生ありがとうの会に向けて

2月24日（金）は、「6年生ありがとうの会」を予定しています。この会は5年生が中心となって企画運営するために、6年生になるための登竜門のようなものです。

今年のテーマを「6年生に感謝の気持ちをこめて、ありがとうを伝えよう」と決めて、各学年でお花を作ったり、似顔絵を描いたり、お手紙を書いたりして準備を進めてきました。昼の放送では6年生のリクエストに応じて、音楽も流してくれています。先日、5年生がプログラムの回りのお花を、「やはりおめでたいから赤と白がいいよね」と言いながら紅白の色に交換してくれました。お陰で見違えるように華やかになりました。作業をしている子どもたちが楽しそうに活動していることがいいな、と思ったのでした。

昨年度はズームを使ってのありがとうの会でしたが、今回は体育館に全校集まって行うことができそうで、今から楽しみです。当日は体育館をたくさんの“ありがとう”でいっぱいになりたいものです。



1年生が自分の好きな絵本を紹介するため、タブレットを使って好きな場面の写真を撮ったり、お話を読んで動画を撮ったりしていました。ICT支援員の先生からアドバイスをもらって、思い思いに活動していました。

どんな作品になるのでしょうか。



令和5年2月

保護者のみなさまへ

由利本荘市教育委員会

学校におけるいじめ防止対策の徹底について

令和4年度の「由利本荘市学校生活アンケート」を、7月と11月の2回、すべてのご家庭を対象に実施いたしました。ご協力に対しまして心より感謝申し上げます。なお、『いじめやいやなことは今も続いていますか』の問いに『はい』と回答のあった事案には、そのすべてについて各学校で対応しているところです。

さて、令和5年1月25日、「由利本荘市いじめ防止基本方針」に基づき、「令和4年度第2回いじめ問題対策連絡協議会(※)」を開催しました。協議会では、アンケートの結果(保護者記入欄も含む)を踏まえ、「学校におけるいじめ問題への対応の在り方」等について話し合われました。

協議会における各校への提言をまとめた下記Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにつきましては、年度初めの早い時期に、市内各小・中学校が職員・保護者・地域による共通理解を図り、共通実践が進められるよう啓発してまいります。

引き続き学校の取組に対してご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

(※)協力機関： 法務局、由利本荘警察署、中央児童相談所、
市PTA連合会、市校長会、市教頭会、
教育委員会事務局

記

- I 悩みや不安をなかなか相談できない児童生徒がいることにも留意し、児童生徒一人一人の状況を多面的に把握するよう心がけたい。
- II 「学校いじめ防止基本方針」を、ホームページや学校だより等を通じて周知する等、保護者との共通理解を図り、いじめ問題に取り組んでいきたい。
- III 児童会や生徒会の活動の一環としていじめ防止に取り組む等、児童生徒が主体的にいじめ問題について考え、交流する場や機会を積極的に設定する。様々な活動を通して、児童生徒の人権尊重の精神を高めていきたい。

－「由利本荘市学校生活アンケート」について－

アンケートの内容等に対して様々なご意見をいただいておりますが、協議会において、令和5年度も実施する方向で進めることを確認いたしました。なお、回答欄や選択肢等については今後も改善を図ってまいります。

(【保護者記入欄】への記述より)

- 「アンケートの実施は子ども自身が自分の行動を振り返る機会となる」
- 「いじめについて親子で話すよい機会となっている」
- 「気になることがあったら教えてほしい」
- 「記名式だと子どもが本当のことを言わないのではないかと心配である」